

2025年2月27日（研究機関長許可日）

**「肺がん術前 3DCT における低エネルギー仮想単色 X 線画像の活用の有用性
ならびに至適エネルギーに関する検討」
へご協力のお願い**

**一肺がん術前造影 CT 検査を受けた患者さんへー
【通常診療情報の調査研究への使用のお願い】**

高崎総合医療センター放射線科では、以下の臨床研究を行っております。
内容をご確認ください。

(1) 研究の概要

【研究の背景】

肺がんの外科手術では、安全な手術につながるとして 3D 画像を用いた術前評価の有用であると多く報告されており、肺がん術前造影 CT 検査では 3D 画像作成に必要な撮影が行われます。しかし、造影 CT 検査における Dual Energy CT 撮影^{※1}で得られる画像によっては造影コントラストを向上させる性質があり、この性質を利用した画像が肺がん術前 3DCT 画像に活用できる可能性があります。

※1：管電圧の異なる 2 種類の X 線で CT を撮影する技術

【研究の意義】

肺がんの外科手術を控える患者さんにおいて、過去に行った検査の撮影データを活用することにより、肺がん術前造影 CT 検査省略の可能性があり、一検査分の被ばく低減や造影剤使用の省略につながることを期待できます。

【研究の目的】

この研究は、肺がんの外科手術を控える患者さんにおいて、過去に行った検査の撮影データを活用することにより、肺がん術前造影 CT 検査の省略が可能であるか、ならびに活用する撮影データに関して調べることを主な目的としています。

そのため、対象調査期間中に肺がん術前造影 CT 検査を受けた患者さんのカルテ等の検査データを使用させていただきます。

(2) 研究の方法

① この調査研究は高崎総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間：研究機関長許可日 ～ 2026年3月31日まで

対象調査期間：2024年9月1日 ～ 2025年12月31日まで

② 今回の調査研究では上記の対象調査期間中に肺がん術前造影 CT 検査を受けた患者さんのカルテ等の検査データを集計し、画像情報について調査します。

情報：既往歴

試料：CT 画像

③ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

作成日：2025年2月5日（第1版）

- ④ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑤ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ⑥ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は高崎総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- ⑦ この調査研究は、放射線科の研究費を使用して行います。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

高崎総合医療センター 放射線科 職名 診療放射線技師

研究責任者：武井 弘樹

T E L : 027-322-5901(代) F A X : 027-327-1826(代)